

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

2019
10月号
vol.639

月刊

同友



特集

『人を生かす経営推進本部』座談会
『企業づくり』に向けて、わが委員会はどう活動する!

21世紀型
自立型
企業づくり

心ひとつにしてお客様を喜ばす
川本 元 氏 [株式会社ポストン・ナイン]

ポケット月刊同友



福岡同友会へ Message

糸島市長

つきがた ゆうじ
月形 祐二 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会におかれましては、1963年の設立以来、中小企業の経営者の皆様が学びあいながら、自社の持続的な成長と発展を目指し、企業経営を通じて地域経済の発展に貢献されておりますことに心から敬意を表します。

本市は、今年で誕生から10年目を迎えることとなります。この10年の間に関東圏を中心として糸島の認知度が高まり、豊かな農林水産物をはじめとする市の魅力が高い評価を受けてきました。それに伴い、本市への移住希望者も増えており、現在、本市の人口は、過去最大規模となっています。

さて、本市では九州大学が移転されたことを受け、九州大学を核とした学術研究都市づくりをめざして、大学の基礎研究や知的資源を実用化・事業化する企業・研究所等が集積し、新たな事業・サービス・財を生み出す拠点をキャンパス近隣に整備する「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」の実現に向け取組を進めています。今後、「糸島サイエンス・ヴィレッジ」の実現化に向けて準備委員会を設置し、具体的なロードマップを策定する予定です。

また、地域経済発展のため、豊かな自然や新鮮な食材、交通利便性、九州大学などの地域資源を最大限に生かした観光産業や企業誘致、6次産業化等の取組を実施してまいります。

皆様方におかれましては、今後とも地域とともに歩まれながら、同友会の学びを实践されることで、地域経済を支えていただきますようご協力お願い申し上げます。

福岡県中小企業家同友会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。

直方市長

おおつか のぶひろ
大塚 進弘 氏



一般社団法人福岡県中小企業家同友会の皆様には、弛まない研鑽をつまれ、中小企業の地位向上と地域づくりに貢献されておられますことに深く敬意を表します。

とりわけ直方市では、皆様からの熱い思いを受けて、県下でもいち早く中小企業振興条例を制定し、その後、産業振興ビジョン、アクションプランを策定し、様々な施策を展開しているところです。

条例制定を通じて、改めて中小企業の大切さを市民、議会、そして行政も認識するきっかけになったと考えており、感謝申し上げます。

さて、いつの時代でも環境変化は起こっていますが、今日の変化は、我々が経験したことのないようなスピードで進む人口減少と、技術革新がもたらす社会経済の変化に特徴があります。企業も地方自治体もそうした変化の中で、持続可能性を探りながら対応していかなければなりません。

そして、地方自治体は、住民福祉の向上を目標としながら、全てのステークホルダーの満足度の向上を全体最適の中で求めなければなりません。このことは、短期的に実現できるものでもなく、中小企業の皆さんとも共創しなければ実現しません。

「国民や地域とともに歩む中小企業」を標榜する中小企業家同友会の皆様と、共に元気な地域づくりに邁進したいと思っておりますので、よろしくお祈りします。共に頑張っていきたいと思います。

終わりに、中小企業家同友会と会員の皆様のご発展を心からお祈りし、ご挨拶とします。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



月刊「同友」表紙
フォトコンテスト結果発表

「私の仕事」をテーマにしたフォトコンテストは山本さんの写真が受賞し、表紙を飾りました。おめでとうございます。



山本 正和 さん

株式会社特殊高所技術
専務取締役 (福友支部)

comment 当社独自技術である「特殊高所技術」を用いて、関門橋の点検を実施している様子です。主塔の高さは海面から約140m、高所作業車等での近接は困難で、定期的な点検のために仮設足場を組むのも現実的ではありません。当社では、通常の方法では近接が困難な場所に安全に近接し、調査点検・非破壊検査や補修工事を行なっております。

はみだし レポート

今月の自立型企業づくり



株式会社ポストン・ナイン
代表取締役
川本 元 氏
(玄海支部)



株式会社ココスイメージ
代表取締役 **富谷正弘** (玄海支部)

私が川本さんをご紹介します

川本さんとの出会いは、私が1991年に同友会玄海支部に入会した時で、28年のお付き合いになりました。

第一印象は、「オシャレな遊び心を持ったチョイワルオヤジ」。当時の玄海支部は、「知り合おう」「学び合おう」「遊び合おう」と楽しくて行きたくなる例会が目白押しでした。私もその空気にのみこまれ、その魅力に魅せられてはや28年の時を重ねました。

川本さんの素敵なおところは「遊び」も「生懸命」「学び」も「生懸命、そして経営計画書を指針に実践、実践」

また実践！と行動する行動力です。そして福岡市南区にある障がい者施設「工房まる」の支援です。「工房まる」の入所者が描くイラストをTシャツとして商品化し、全国販売して収益から適正なイラスト使用料を支払うシステムを作り上げました。

「JAZZが好きで、オシャレで遊び心を持ったチョイワルオヤジ」

川本元ががんばれ！

原稿▶菅原 弘(広報部)
撮影▶旭 晋平(同友会事務局)

推進本部』座談会

Symposium 『人を生かす経営

わが委員会はこう活動する!

「企業づくり」に向けて、



同友会では「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも時代の変化に対応しつつ経営を維持し発展させる責任がある」と経営者の責任を明確にしています。そのためには何よりも『企業づくり』が重要になってきます。今回は『企業づくり』を担う『人を生かす経営推進本部』の経営労働委員会、共同求人委員会、共育委員会、バリアフリー委員会の4委員会のメンバーにお集まりいただき、座談会を開催しました。



Panelist
共同求人副委員長
中村 正昭氏
(株)中村タイル商会 代表取締役
(福友支部)



Panelist
共育副委員長
山野 将由氏
(株)エヴァ 取締役
(南支部)



Panelist
バリアフリー副委員長
西田 英司氏
(株)カルペ・ディエム 代表取締役
(福博支部)



Panelist
経営労働委員長
吉武 鑑泰氏
(株)良久良久 代表取締役
(久留米支部)



Moderator
広報情報委員長
濱田 満広氏
(株)濱田設備 代表取締役
(大牟田支部)

役割と活動

濱田 今回、座長を務めます広報情報委員長濱田です。よろしくお願ひいたします。まず初めに、各委員会の役割と活動内容を教えてください。

吉武 経営労働委員会の吉武です。同友会の最大の特徴と言ってもいい『経営指針作成セミナー』を開催しています。具体的な活動として、6月にワンシート作成セミナーを開催し、8月に2泊3日の経営指針作成セミナーを開催しました。2月にはアクセスの良い場所で日帰り3日2夜のセミナーも予定しています。経営指針の大枠を理解してもらおう『あすなる塾』は地区会主催になりますので、私たちはお手伝いしています。

経営指針は中同協の方針にしたがって『経営指針成文化と実践の手引き』を利用して進めています。『労使見解』を継続的に学ぶ場をつくり、人を生かす経営の本質をつかむようになっています。同友会らしい経営指針の成文化と実践を広め、実践事例に学び合いをしています。

山野 他の会社も含めて3年以上働いた経験があれば参加できます。

西田 バリアフリー委員会の西田です。全国では障害者問題委員会と呼ばれる声がありますが、全国交流会でも「知らないから壁がある、知ること壁がなくなる」という話がありました。知ってもらおう・見てもらおうことで障壁がなくなり、どうすれば解決できるのかを経営者が学びます。多様性を認め障害者も高齢者も女性も生きやすい社会づくり、ダイバーシティという考え方になります。まずは委員会に参加してほしいと思っています。

濱田 同友会の会員さんなら必ずや理解できますよね。

濱田 同友会の会員さんなら必ずや理解できますよね。

現状の課題は

濱田 次に各委員会の現状の課題を教えてください。

中村 共同求人委員会の中村です。役割は会員企業が新卒採用するための企業づくりです。活動としては年2回合同説明会を開いています。合同企業説明会前には、大学の就職課を訪問するなど大学との関係づくりも行なっています。

また、4月1日の合同入社式を経て新入社員研修、10月に新入社員フォローアップ研修をしています。入社2年目・3年目対象の研修もしています。同期入社が少ない中で、ヨコの繋がりで悩みの相談ができる仲間づくりのお手伝いです。こうした活動は年間スケジュールを組んで行なっています。

山野 共育委員会の山野です。共同求人委員会との連携で入社3年目以降の社員さんの社会人例会を開催しています。さらに、1名以上の部下を持つリーダー共育研修も開催しています。今年はさらにレベルアップした『経営幹部研修』を開催します。社内のNo.2の育成を目的としています。これらの研修は経営者の参加が必須となります。文字通り『共育』の場です。実は一番学ぶのは、経営者なんです。

濱田 中途採用の方も参加可能ですか。

吉武 経営指針作成セミナーでは、最近、土業や組織化していない方などの個人事業主の方が増えてきました。個人と組織では決算書の作成方法が違ってきます。個人の確定申告はいろいろ所得があるかという立場ですが、組織ではお金の動きを様々な角度から見られるわけです。管理会計の考え方を修得してもらいたいと思っています。税理士の先生に指導をお願いしています。経営指針書作成に当たり、教える側も個人差があつてはいけないのでアドバイスの仕方を統一・標準化しようとして委員会でも研修合宿を組んでいます。

濱田 それはすごいですね。私も個人事業主の時に同友会に入り、経営指針書をつくりました。そして組織化する重要性を学び、株式会社になりました。同友会のおかげです。私が強く感じるのは、納税は経営者の社会的責任です。しっかり話してもらいたいと思っています。

中村 共同求人委員会は単なる新卒採用の委員会と思われていますが、それは結果なんです。人財を採用するために社内規則や風土を良くするといふ「会社磨き」の委員会です。

最近、学生が合同企業説明会に

共育委員会は文字通り『共育ち』です。経営者と社員が共に育っていく企業の風土づくりをすることです。

共育副委員長 山野 将由 氏

共同求人委員会は単なる新卒採用の委員会ではありません。『会社磨き』の委員会です。

共同求人副委員長 中村 正昭 氏



経営指針書を作成すれば必ず業績が上がるかといえば、そうではありません。経営者の姿勢を正すということです。

経営労働委員長 吉武 鑑泰 氏

障害者雇用は難しいという声をよく聞きますが、知ってもらう・見てもらうことで障壁がなくなり、どうすれば解決できるのかを経営者が学びます。

バリアフリー副委員長 西田 英司 氏

これだけは言いたい

集まらなくなっています。これはマイナビやリクナビの合同企業説明会にも見られる傾向です。また、大手企業は採用を早期化してきています。たとえばインターシップを利用して採用に近づけたりしています。中小企業がインターシップを実施するのは負担が大きいのという意見も聞きますが、どうすれば自社も実践できるのかなども委員会で検討しています。

また、地域で企業と学生が接触する機会を増やしていかなければなりません。九州情報大学では数年にわたるキャリア教育の講座を受け持たせてもらうなどしています。

濱田 私も地区会長をしていた時、地域の大学を訪問したことがあります。大学の方とお話をする時、その地域に様々な業種・業態の企業があることが知られていませんでした。地区会との連携は必要ですね。

山野 共育委員会としては、経営者の中に「社員教育は長い目で見ると大事なのは分かるけど、優先順位が低い」と考えている方が多いということですね。売上や目の前の課題が当然ありますから。そうなる委員会に参加される方も少なくなっています。共同求

濱田 今日この座談会の向こう側には会員さんがいます。最後にこれだけは言いたいということをお願いします。

中村 共同求人委員会は単なる「人探し」ではありません。「会社磨き」です。ぜひ参加して欲しいです。

山野 共育委員会は文字通り『共育ち』です。経営者と社員が共に育っていく企業の風土づくりをする委員会です。ぜひ参加していただきたいです。

西田 私がこの委員会に入ってから学んだことですが、自社と似ている企業・自社がなりたいたいと思っているモデルの企業を同友会の中で探すんです。支部にないければ同じ課題に取り組み委員会、さらに県へ出て行く。それでも見つからなければ全国に出て行くのです。私はそうして学びを深めました。地域に生かされ、お客様や働く人を選ばれる企業になるように勉強しています。会

人委員会との連携もさらに強めていきたいです。

吉武 2泊3日の経営指針作成セミナーの受講生対象のアンケートに「あすなる塾を手伝っていただけませんか」という項目を入れています。そうすると結構多くの方が賛同してくれています。地区会主催ではありませんが、あすなる塾で自分の体験を報告してもらっています。経営労働委員会は参加者が比較的多いです。

西田 推進本部の中でもヨコのつながりは重要ですね。『人を生かす経営』全国大会に福岡同友会で参加すると仲間意識が強くなると感じます。よく言われることですが、支部はタテ、委員会はヨコの繋がりで。日々の経営課題を解決するには委員会活動も必要だと思います。4つの委員会の人口はどのくらいかと思いますが、同友会は3つの目的に向かって活動しています。それはどの委員会においても同じだと思います。現在、支部や他の委員会との合同例会を推し進めています。

濱田 まとめていただいていたことがありがとうございます。広報情報委員会も各委員のみなさん、もつともつ同友会を利用しましょう。

吉武 経営指針書の中には「企業づくり」のためにこの4つの委員会の目指すことが網羅されています。しかし作成すれば必ず業績が上がるかといえば、そうではありません。経営者の姿勢を正すということです。※『労使見解』の冊子をよく読んでいただきたいと思っています。自社の経営課題を認識することです。全部の活動に参加するのは無理ですから、自社の課題を解決する委員会に参加してはどうでしょうか。

濱田 経営者の姿勢を正すことが重要であるというキーワードが出てきました。この4委員会はすべて繋がっているということを感じました。現在、月刊同友の景況調査を見ても『人財確保・雇用』という課題がトップに来ています。その課題に対応していくためにも大前提として『企業づくり』があり、経営者の姿勢、そして従業員の資質の向上があると思います。各委員会の役割もますます重要になってきています。みなさんのご活躍と、健勝を祈念してこの座談会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

※『労使見解』…『中小企業における労使関係の見解』（編集・発行：中同協）

心ひとつにして お客様を喜ばす

社員の心をひとつにするために



株式会社ボストン・ナイン 代表取締役

川本 元 氏 はじめ

玄海支部

「おしゃべりは人を元気にします」と言つのは川本元さんです。同友会の学びを自社の経営に活かしていった報告です。

会社概要

今回の取材先の㈱ボストン・ナインについて、代表取締役の川本元さんに説明していただきました。

「専門店向けのアパレルメーカーです。オリジナル商品の企画生産・販売で、卸しと直販をしています。さらにヨーロッパからの輸入をしています。実店舗は天神ソラリアプラザ店、大分、長崎の3店、及びネットでの販売です。ターゲットは30代〜50代で、現在はメンズよりレディースに比重を置いています。また、一風変わったところで、ムラ糸と言ってリサイクルの糸で作った商品はネットでファンが多いんですよ」と川本さんは話します。

ボストン・ナイン創業へ

川本さんは昭和23（1948）年、島



会社外観

根県松江市に生まれます。小さいころから絵を描くのが好きで、Tシャツにマンガを描いていました。今でいうプリントTシャツです。高校生になるとジャズにはまったと言います。

北九州大学に進むと、アイビールックの代表格「VAN」でアルバイトし、そのまま就職しました。しかし倒産の憂き目に遭ってしまいます。とあるメ

ーカーが自分たちのデザインした服をつくるという話がまとまり、VANにいた3人で『ボストン・ナイン』を創業することになりました。昭和53（1978）年のことです。

社名の由来

17世紀にイギリスの夢見る人たちが大西洋の荒海を越えてアメリカ大陸をめざしました。到着して拠点としたのが、ニューイングランド州のボストンでした。その勇気をたたえ、ボストンをめざす仲間たちを「ボストン・ナイン」と呼び、社名にしました。ちなみに「ナイン」には川本さんの九州愛が込められています。

トラッドとトレンド

ファッションを語る時、必須のキーワードがトラッドとトレンド。川本さんは優しい笑顔で話してくれました。

トラッド（トラディショナル）は「伝統的な」と訳され、時代に左右されない普遍的な服装を指します。その一つはアイビールックで、アメリカ東部の伝統あるアイビリーグの学生たちが好んだ服装をモチーフにし



ソラリアプラザ内の店舗（パビリオン天神店）

ています。日本ではいわゆる「みゆき族」が流行に火をつけました。定番アイテムはブレザー、ローファーに加えてポロシャツです。イギリスでポロの試合を観戦した際にシャツの襟が風でめくれないようにボタンで留めているのを見たブルックスブラザーズのスタッフが、これを取り入れて大ブレイクしました。

一方でトレンド（傾向）つまり流行があり、ファッションリーダーの動向に注目し、最新情報を求めています。川本さんが提唱するコンセプトは時代を上手にとらえた『リアルクローズ』

です。上質な素材を用い、パターンを駆使してきちんと縫製を施した本物志向の服を指します。

「日本人は他人と同じことで安心する傾向があります。フランス人のように組み合わせによる個の主張が大切だと思います。お客様から『今やっていることからブレないでね』と言われること

お客様の要求を満たす

創業して2年目に知人の勧めで同友会に入会しました。その後、経営計画書（現在は経営指針書）を作成しまし

た。「当時お世話になったキューサイの故・長谷川常雄さんが作られた経営計画書は行間からエネルギーがあふれていました」と振り返ります。

また経営コンサルタントの「倉定氏に師事し、日本経営合理化協会のセミナーに通いました。

「いい会社とか悪い会社とかがあるのではなく、いい社長と悪い社長がいるのだ」「お客様の要求を満たすことこそ会社のあり方だ」「トップは社員にビジョンを示す必要がある」などの言葉に強い薫陶を受けました。

お客様第一主義によって社内が混乱することもあったという話を聞きました。川本さんは師の言葉に悩みなながらも、まず社員が満足して働いてもらわないことには、お客様の満足は得られないということにたどり着きました。

「社員それぞれ個性があります。それをリスペクトしながらも、日本人の和の精神を大切に、つまり心をひとつに……と言うことです」

同社の理念は「心をひとつにしてお客様を喜ばす」

経営計画書は手帳にして常に社員全員が携行しています。

「朝礼で1ページずつ読み込んでいきます。あまり詳しく説明し

Let's GO!!

委員会へ 行こう!!

Let's go to
the committee

同友すばる委員会

事業承継を支える仕組みづくり

同友すばる委員会とは

同友すばる委員会は同友会つくり推進本部に所属し、女性部委員会、青年部連絡会、会員増強部、広報情報委員会と共に福岡同友会の発展のために同友会運動を推進しています。

同友すばる委員会のメンバーは、60歳以上の会員で構成され、毎月第4火曜日15時〜17時に委員会を開催しています。委員会活動として、交流部会と事業承継塾の二つの活動をしています。交流部会は上田啓蔵



委員会の企画会議の様子

と、きめ細やかなコミュニケーションを大事にしています。

玄海支部立ち上げ

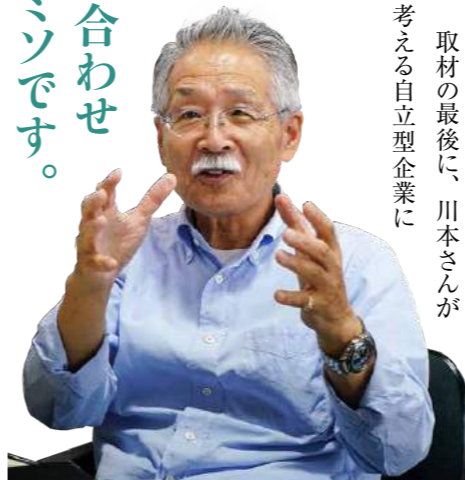
川本さんは玄海支部の初代支部長です。青年支部は40才で卒業するというルールがあり、その受け皿になれるような体制づくりとして玄海支部を立ち上げました。

「目指したことは『知り合おう』ということでした。そのために『遊び合おう』に努めました」と笑顔で話します。座学だけではなくお寺に出かけては俳句をひねってみたり、海辺でBBQを企画してみたりしました。「とにかく行きたくなる例会つくり尽力しました。50人の会員の支部長は50人の会社の社長、100人の会員の支部長は100人の会社の社長と同じだ」と歴代支部長を励ましています。

慈善活動も怠らない

川本さんは福岡市南区にある障がい者施設『工房まる』を永きにわたって

経営計画を朝礼で読み合わせ
詳しく説明しないのがミソです。
自主的に考えてもらいたいから



支援しています。「アート活動をしている『工房まる』、彼らの絵にはすごい力があり、それを大事にウチのデザイナーがTシャツに仕上げて全国販売しています」

また青年支部の毎年恒例のFF（フレンドシップ・フェスティバル）にも協力を惜しみません。

ワークスタイルを変えてみて

10年前に息子さんが入社し、事業承継の体制を整えつつあります。また、数年前から自身が始業の2時間前に出社するようにしました。

「静かなオフィスは、いいですね。頭の中がすっきりしているアイデアが浮かびます。社長は会社の将来に対して責任がありますからね」

取材の最後に、川本さんが考える自立型企業に



ポストン-ナインの経営指針書と経営計画等が書かれた手帳

100年企業づくり活動を
今年度の事業承継塾は、電気ビル共創館で6月から7回にわたり色々なテーマで、土曜日の14時〜17時まで開催しています。これまで7年間で、延べ人数1300名超の参加をいただいています。

事業承継塾と交流部会

同友すばる委員会は、2011年にでき、当初はベテラン会員の退会防止のため、交流を主に活動していましたが、会員の声で一番多かったのが事業承継でした。その結果、2012年7月より「事業承継塾」を開催するようになりました。

交流部会は、年2回開催し、1回は各地区会との交流やその地の歴史や文化など学ぶこと、委員会を知り委員として参加していただくことを目的に活動しています。もう1回は、福岡地区を中心に街歩きを実施し歴史や文化を学び、博多伝統芸能などを体験しています。



事業承継塾の様子

今後の活動予定は、同友会の経営相談室としての「1社も潰さない」活動から、「100年企業づくり」活動のために、経営相談室内に事業承継相談窓口を開設し、積極的に会員の皆さんの問題解決のためのシステムを構築していきます。

同友すばる委員長 末竹 哲(西支部)

株式会社ポストン-ナイン

創業 1978年10月
住所 福岡市中央区今泉1-17-21
電話 092-712-3455
従業員数 25名
HP-URL <http://www.boston-nine.com/>
事業概要 レディスカジュアルウェアの企画、生産、卸、販売を行なっているアパレルメーカー。



取材 広報部
文章担当 菅原 弘(東支部)
写真 寛谷 正弘(玄海支部)

ついてお伺いしました。「社員の個性を大切にしている会社。その欠点でもリスクペクトし、心ひとつにしていく会社だと思えます。ビジョンに向かってひとつひとつになっていく会社ではないでしょうか」と締めさせていただきました。取材協力ありがとうございます。



会員全員の手で心をこめて 感じた支部の団結力

2019年6月15日(土)、かすや支部設立10周年記念式典が開催されました。式典運営を任されたのは、設立時からの役員である田中潤一郎氏。式典づくりを進める中で見つけ出した自分たちらしいとは。



歴代支部長挨拶の場面



講演していただいた福田賢輔氏

かすや支部らしい式典を

昨年4月の支部役員研修会において「2019年4月に設立して10周年を迎えるが、記念行事を行うことはできないか」との意見が出され、役員全員賛成のもと早速に10周年準備委員会を発足しました。そして、かすや支部の設立時からの役員である私が準備委員長として委員会をまとめることになりました。

まず記念式典を行う場所はどこにするか？これについては私の頭に粕屋町商工会館がまっさきに浮かびました。ここは10年前にかすや支部設立総会を行ったところです。ここで10年の区切りをつけて記念式典を行う。正に原点回帰にふさわしいと考えました。

次に準備委員会で話し合ったことは「かすや支部らしい式典とは」ということでした。50名弱の小さな支部で、しかも普段の例会は糟屋郡内の町立公共施設や同友会会議室などのどちらかといえばあまり費用のかららない施設を借りて行なっている支部です。派手なことではできませんが会員全員で心のこもった手作りの式典ならできる。これで行くことにしました。

「ダンスが大いに盛り上がり、ゲストの皆さんには喜んでいただけよう。また、準備したお土産も会員のお店の商品を使わせていただきました。このように何から何まで手作りの記念式典、懇親会で華やかさはありませんでしたが、会員で作った記念行事。やってよかったと感じております。」

はじまりからおわりまで 全て手作りの式典

記念講演は元代表理事の株式会社△△の福田賢輔さんをお願いしました。かすや支部設立に最も尽力された方で、記念講演者にふさわしいと考えました。パンフレット、案内チラシ、案内ハガキなどの印刷物は会員の会社へ手配して、糟屋郡内の各町長や商工会会長、金融機関へも手分けして出席のお願いに廻りました。おかげで粕屋町、志免町、須恵町の各町長をはじめ各商工会会長、金融機関の支店長には快くご出席の返事をいただくことができました。

当日は記念式典終了後に10分の休憩時間をはさみました。その間に懇親会会場に模様替えする必要がありました。支部会員全員が統率の取れた行動で素早く変更することができました。今更ながら支部会員の団結力を感じました。懇親会に出た食料のなかには当日に会員同士の食料をコラボして作られたものがあり、とても好評でした。アトラクションも準備していたベリ



統率の取れた会員全員での模様替え

「ダンスが大いに盛り上がり、ゲストの皆さんには喜んでいただけよう。また、準備したお土産も会員のお店の商品を使わせていただきました。このように何から何まで手作りの記念式典、懇親会で華やかさはありませんでしたが、会員で作った記念行事。やってよかったと感じております。」

最後にありますが、当日ご出席いただきましてゲストの皆様には御礼申し上げます。また、忙しい中手伝ってくださった会員の皆さんありがとうございました。かすや支部は次の10年へ向かって進んでまいります。

一般社団法人福岡県中小企業家同友会 2019年度第4回理事会議事録 (一部抜粋)

日時 2019年8月28日(水) 14時30分～17時35分
会場 福岡県中小企業振興センター 202号会議室

出席 37名(出席率77.1%) 議長 四ヶ所 十郎(理事・県南地区会長)

協議事項

1. 増強部会の地区開催について

増強部長より、これまで福岡地域で開催していた増強部会を今年度は隔月で各地区開催としていきたい旨の提案。9・11・1・3月は福岡地区、10月は筑豊地区、12月は県南地区、2月は北九州地区で開催する。これまで遠方で参加が難しかったという担当役員とも増強の課題や取り組みについて協議しながら、増強の勉強会も兼ねた形で部会を開催する。定例日は第1月曜日だが、今後各地区の担当役員と相談し詳細を詰めていく。

2. 7月豪雨災害と災害支援金規程について

総務財政室長より2点提案があった。
①7月豪雨被災企業への対応について
7月の豪雨による被害状況の報告と被災企業への今後の対応が提案された。組織運営規程第49条には見舞金についての規定がある。第4項には「本社・社屋が被災した場合」と明示されているが今回の豪雨では本社・社屋以外への被害もあった。第6項に「その他理事会が必要と認めた場合」という一文があることから今回の豪雨で被害を受けた会員に対し本社・社屋の被災か否かに関わらず見舞金をお渡しすることとした。
⇒提案の通り見舞金をお渡しすることを承認した。

②災害支援金規定改定案

災害支援金規定を改定し、本規定の適用を地方公共団体等が激甚災害に指定したものとすることを提案したい。激甚災害にあたらぬ災害により会員企業が被災した際は前述の組織運営規定内の見舞金規定で対応する。
⇒提案の通り災害支援金規定改定を承認した。

3. 同友会活動の手引きについて

担当役員より報告。2017年度に組織の機能と役割の見直しが行われ、2018年の総会でその内容を承認した。その後、正副で具体化を進め、2019年1月理事会にて提起、内容を確認した。
しかし室・本部制への移行など会員に十分理解できない状況があるのではないかとということで2019年3月に活動の手引き作成チームを結成し、同友会全体が見渡せる手引きの作成に着手した。理事・役員の方には手引きをよくお読みいただき、9・10月の支部・地区・本部・委員会等の会議でも協議して意見集約をお願いしたい。10/11までに意見集約をし、正副・作成チームで整理、協議したものを再度理事会へ提出する。資料なども充実させ最終的には2020年1月にデータ完成予定で進める。

理事会報告全文をe.doyuの文書管理(理事会報告-2019年度)にアップしています。会員の方は閲覧できます。



かすや支部10周年
記念式典実行委員長
田中潤一郎
(有限会社田中凸版)

経営者基礎講座

第1講 経営者としての心構え
 ～何のために会社を経営しているのか。人を生かす経営とは。～
10月11日(金) 18:30～20:30

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎092-686-1234
- 新内 一秋 氏 株式会社筑紫工業 代表取締役 南支部

第2講 労働法に関すること
 ～就業規則、36協定、雇用契約、労働時間の把握と休日等、時間外労働や社会保険～
10月25日(金) 18:30～20:30

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎092-686-1234
- 高谷 幸一 氏 株式会社ユニティ 代表取締役 福博支部

11/8(金) 第3講 労働法に関すること
 ■ 高谷 幸一 氏 (福博支部) 株式会社ユニティ 代表取締役

11/22(金) 第4講 財務に関すること
 ■ 森 茂博 氏 (筑紫支部) 和新生業株式会社 代表取締役会長

2019年度情勢勉強会

情勢認識を深め、自社の経営方針を策定しよう

10月15日(火) 15:00～18:30

- 福岡県中小企業振興センター401 福岡市博多区吉塚本町9-15-4F ☎092-622-0011
- 松井 清亮 氏 中小企業家同友会全国協議会 専任講師

*「情勢認識」は経営指針書の方針策定に不可欠です!中小企業を取り巻く経営環境は、日々刻々と変化しています。現在の情勢を的確に理解し、自社が向かう方向を考えるための勉強会です。この機会に、社員さんと共に勉強して(複眼で見る)自社の経営方針策定のヒントを探りませんか?皆さまのご参加をお待ちしております。

15 火 18:30～21:00 玄海支部 10月例会

アンガーマネジメント ～社長!その怒りで信頼をなくさないで!～

- 都久志会館 福岡県福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
- 財津 ユカ 氏 有限会社オフィスエイツ 代表取締役

アンガーマネジメントとは、1970年代にアメリカで始まったアンガー(イライラ、怒りの感情)をマネジメント(上手に付き合う)ための心理教育です。アメリカでは、職業にとらわれず、様々な人達がよりよい生活や仕事、人間関係を手に入れるために技術を取得し、「アンガーマネジメント」をしています。今回は怒りの感情と上手に付き合う方法を学べる例会となっています。ぜひご参加ください!

15 火 18:30～21:00 糸島支部 10月例会

社員と共によい会社を作る ～会社の経営課題は、会社の外ではなく中にあった～

- 前原公民館 大会議室 糸島市前原東2-2-5 ☎092-322-2481
- 福田 裕聡 氏 株式会社スマリオン 代表取締役 南支部

人の成長なくして企業成長はないと言われているように、近年このテーマの重要度は増えています。人材不足の中、企業がいかに社員を成長させ、学びの場を用意できるかが重要となります。会員の業績向上、離職防止、経営指針書作成セミナーの受講につながる様な例会にします。

15 火 18:30～21:00 博多支部 10月例会

第2回経済交流・自社PR発表会

～ここから始まる経済交流～発展していく博多支部へ～

- 天神ビル11階11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920

今回の例会は、「会員同士の経済交流を活性化していく」ことを目的として、まずは「会員の会社や仕事内容をより多くの人に知ってもらう」ということに重点を置いて行います。博多支部の会員の方々が、具体的にどんな仕事を日々行っているのかを自ら発表してもらうことで、実際にどんな場面でその商品やサービスを利用出来るのかを他の会員も分かり易く知ることが出来る、それが経済交流のきっかけになります。また他の会員の方も例会に参加することで、自社の仕事のヒントを見つければにも繋がります。

16 水 18:30～21:00 東支部 10月例会

プレイングマネージャーからの脱却

～いつまで現場で働きますか?～

- ウィズスタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 豊島 圭 氏 不動産の窓口株式会社 代表取締役 博多支部

不動産の窓口を創業後、トップセールスで業績を拡大し続け、一度は営業から身を引くものの再び現場に復帰。プレイングマネージャーからの脱却を目指し、何度もトライ&エラーを繰り返す目的とは?まさに「今」挑戦を続ける経営者の「生」の体験を報告いただきます。

10月の

16 水 18:30～21:00 田川支部 10月例会

社員が生き生きと活躍できる経営へ挑戦-第二弾

～経営指針書に基づく経営とは～

- たがわ情報センター 田川市番田町2-1 ☎0947-49-3220
- 荒瀬 浩 氏 株式会社三水商事 代表取締役 田川支部
- 栗原 菜美 氏 株式会社and GALLERY 代表取締役 田川支部
- 佐々木智史 氏 株式会社PANET 代表取締役 田川支部
- 吉積 正三 氏 吉積商会 代表者 田川支部

6月に開催された第一段に続き、7月のあすなる塾及び8月の経営指針作成2泊3日セミナーに参加した会員がパネラーとなり発表します。同友会に入会する前、入会后、あすなる塾参加後、セミナー参加後の気持ちの変化や経営に対する考えを体験として報告し、理念・ビジョン、経営指針書の必要性及びこれに基づくPDCAサイクルの経営の重要性を学びます。

16 水 18:30～21:00 中央支部 10月例会

ジャンルレスなネットワークで社会課題に挑戦する!

～地域になくなくてはならない会社作りを学ぶ～

- 都久志会館 福岡県福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
- 荒巻 健志 氏 株式会社Soil 代表取締役 中央支部

「一人一人が社会で活躍できる障がい者支援がしたい」。その思いを胸に障がい者雇用への無理解・地域における人手不足・情報不足など、社会が抱える様々な社会課題に挑戦する荒巻氏の姿を通して、地域とともに歩む中小企業のあり方について学びます。

17 木 18:30～21:00 飯塚支部 10月例会

同友会運動を自社経営に!

- バドゥル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
- 大石さやか 氏 有限会社上原商事 代表取締役 田川支部
- 上原 晃一 氏 株式会社コナテッドファム 代表取締役 田川支部

同友会には様々な学びがあります。本例会では、同友会運動が自社経営に活かせる術を学び、会歴の浅い会員が同友会の醍醐味を知ることが目的とします。大石氏には2泊3日セミナーを受講した体験から、経営指針の重要性を報告してもらいます。上原氏は会歴3年と比較的浅いですが幅広く同友会運動を行い、現在はブロック長として活躍。同友会運動を通して、会社に還元できたことを報告してもらいます。

17 木 18:30～21:00 北九州支部・ひびき支部 合同10月例会

働き方改革を学んで助成金を活用しよう

～いつでも助成金を受けられる経営をして、労務リスクを回避する～

- コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-642-1441
- 河邊 浩之 氏 河邊社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 北九州支部

「働き方改革」の推進を後押しする助成金の新設、制度拡充を進めており、「助成金を受けて、社員が明るく働けるいい職場にする」大チャンスが到来しています!「いつでも助成金を受けられる経営体質(労務管理体制)」を作っておくことが極めて重要です。

17 木 18:30～21:00 りょうちく支部 10月例会

社員がイキイキ働く職場づくり3

～人手不足対策の次なる一手!～

- 筑後川温泉 ふくせんか うきは市浮羽町古川1099-8 ☎0943-77-3131
- 田浦 通 氏 株式会社シティーライン 代表取締役 かすや支部

10月例会は、「組織づくり」に関して、前代表理事の田浦通氏に今後の経済環境の未来像も含めて、どのような「組織づくり」を目指していくべきなのか、報告いただきます。人材不足の背景、今後の日本の経済状況から捉える労務関係の展望、そして運送業界全体における方向性や、会社の取り組みについて話していただきます。

17 木 18:00～20:30 福博支部 10月例会

地域一体型経営!(仮)

- アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-733-1310
- 大賀 崇浩 氏 株式会社大賀薬局 代表取締役 東支部

17 木 19:00～21:00 青年支部 10月例会

行事案内

17 木 18:30～21:00 西支部 10月例会

自社と地域における外国人材受入れの実務と現状

～多文化共生社会の実現にむけて～

- 天神ビル11階11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 報告者 清水 大 氏 SHIMIZU行政書士事務所 代表者 西支部
- パネリスト 松本かおり 氏 株式会社御膳屋 専務取締役 西支部
- パネリスト 三浦 義孝 氏 三浦造園土木建設株式会社 代表取締役 西支部
- パネリスト 田原 隆春 氏 熊川工業株式会社 常務取締役 西支部

人手不足の深刻化から外国人材の受入れが進められるようになってきました。そこで、専門家の見地から受入れ手続き実務に関して解説を行い、パネルディスカッションにより、受入れ実績のある企業から受入れによるメリットや問題点についてお話しいただきます。

17 木 18:30～21:00 福友支部 10月例会

人を雇う意義と人を生かす経営の実践

～パートさんから取締役が4人出る会社とは～

- ウィズ・スタイル・フクオカ 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 畑中 章宏 氏 株式会社ママミール 代表取締役 福友支部

株式会社ママミールは、幼稚園に園児向けのお弁当を製造、販売している会社です。これまでの人の雇用について振り返ると、入社してよかった、結婚式に来てください。と嬉しかったことがある。入社してから経営理念に共感し、長く働いている方々も少なくない。その中でも、様々な役割を引き受けてくれて、パートから今では取締役になっている方が4名。人を雇用し、日々コミュニケーションをとってお互いの関係性を築いている畑中さんから、人を雇うことの意義と経営者にとって何が必要となると感じているか、赤裸々にご報告いただきます。

17 木 18:20～20:50 筑紫支部 10月例会

地域と歩む企業経営とは?

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 植原 正明 氏 有限会社フルガード 代表取締役 筑紫支部

1983年に太宰府市で起業した植原さん。「地域と社会の安心、安全に欠かせない存在であり続ける」を自社の使命とし、地域の中の困り事を解決しています。起業当時と今の思い(変化したのも、変わらなかったもの)、これまでの実績について報告していただきます。

18 金 18:30～21:00 かすや支部 10月例会

同友会とは?同友会をもっと知ろう!!～知れば知るほど学びも深まる～

- 粕屋町商工会館 糟屋郡粕屋町若宮2-3-1 ☎092-938-2456
- 田浦 通 氏 株式会社シティーライン 代表取締役 かすや支部
- 嶋田 郷士 氏 洋菓子店サクレクール 代表者 かすや支部

ゲストおよび新会員に向けた「知る会」を開催します。同友会の活動について深く知り、今後の学びに繋がっていきます。

18 金 18:30～20:30 久留米支部 10月例会

■ みんなの会議室 久留米市六ツ門町3-11くらめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067

23 水 19:00～22:00 有明支部・大牟田支部 10月合同例会

(知る会19:00～深掘会20:30～)

同友会を知る会

- ホテルニューガイオムガーデン スカイホール 大牟田市旭町3-3-3 ☎0944-51-1111
- 金川 俊一 氏 株式会社ビッグロード 代表取締役 東支部

同友会を知り尽くしたベテラン会員、株式会社ビッグロード代表取締役金川俊一氏より経営者としての心構え、仕事への向き合い方など様々な切り口からお話しいただきます。

25 金 18:30～21:00 有明支部 10月例会

10年ビジョンの実現にむけて

- 華香園ホテル 久留米市櫛原町87 ☎0942-35-5351
- 植原 憲一 氏 株式会社カラーリングファーム 代表取締役 りょうちく支部

体験報告をメインに、経営労働委員会に参加しながら作成した10年ビジョンに向けてどういった取り組みを実践しているかをお話しいただきます。

25 金 18:30～21:00 のおがた支部 10月例会

「直方市中小企業振興条例」徹底検証!

～行政と企業が考える「直方市中小企業振興条例」～

- ジ・エクセレントガーデン 直方市頓野4069-9 ☎0949-26-8808
- 大塚 進弘 氏 直方市 市長
- 中村 高明 氏 株式会社紀之国屋 会長 のおがた支部

直方市中小企業振興条例は2012(平成24年)10月9日に施行され7年の歳月が経ち、今一度検証すべき時期が到来しているのではないかと考えます。本例会では、大塚進弘市長、中村高明氏に、行政と企業が考える直方市中小企業振興条例について詳細にご報告いただきます。条例についての知識を深め、条例の今後の活用について改めて考え実践することで、企業づくりから地域づくりへ繋げることを主旨・目的とします。

事業承継塾 第3講 「社員から経営者への道」 10月26日(土) 14:00～17:00

- 電気ビル共創館3F 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル本店隣 ☎092-714-5743
- 船越 岩人 氏 株式会社山幸蒲鉾 代表取締役社長 東支部

昨今中小企業において、「事業承継」は大きな課題として取り上げられています。社長の「心意気」を伝え、企業の存在意義を受け継ぐことができるか。今後中小企業が生き残るために、事業承継を学ぶことは大きな意義があります。(受講料:2,000円)

第2回 広報情報化交流会

読みたくなる文章とインスタ映えする写真 10月26日(土) 13:30～17:30

- 久留米市民交流センター 308会議室 久留米市城南町15番地3 久留米市役所3階
- 林田 孝一 氏 KOHO株式会社
- 瀬戸 正直 氏 株式会社スタジオ パッション 福友支部

広報・情報発信は中小企業の経営課題の一つです。たとえよい商品やサービスがあっても、また、よい会社であっても、認知されなければ宝の持ち腐れになってしまいます。今回の広報情報化交流会では、ブログやSNSなどインターネットで情報発信するにあたり、どのようにすれば、文章を読んでもらえるか、または印象的な写真になるかを、実際にワークをやりながら学びます。

- 参加費:1,000円
- 当日はタブレットまたはスマートフォンをご持参ください。

28 日 18:30～21:00 女性部10月 企業訪問例会

共通価値を創造する(CSV)企業になるためには(仮)

- 保育園もしくは本社見学
- 小津 智一 氏 株式会社OZ Company 代表取締役 糸島支部

今回の例会は2016年に保育業界で初の受賞「新・ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業省)に選ばれた企業から学びます。

29 火 18:30～20:30 国際交流委員会 10月例会

(18:30～19:00委員会)

■ 株式会社JEC 福岡市博多区奈良屋町5-10 ☎092-409-6510

29 火 18:30～21:00 FAST10月例会

本革新製品のお客様の心をつかむ(仮)

- 福岡県中小企業振興センタービル 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-6680
- 三輪 公平 氏 I-WA・MI株式会社 代表取締役 中央支部

29 火 18:30～21:00 南支部 10月例会

同友会を学び、新リーダーとして組織再構築に挑む

～様々な課題に正面から立ち向かっていく軌跡～

- 天神ビル 福岡市中央区天神2-12-11 ☎092-737-0873
- 縄田由希子 氏 株式会社エム・エス・ピー 代表取締役 南支部

経理担当だった私が突然社長になることに一とまどいながら組織運営を行うべく、まずは経営指針書作成に取り組みます。リーダーシップとは何かを自問自答しながら本気で社員たちと向き合う発展途上物語を、縄田氏にご報告いただきます。

お申し込み、お問合せは、e.doyu もしくは、同友会事務局まで
 お願いします。お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。



参加者募集

2019年度 広報情報化交流会

読みたくなる文章と インスタ映えする写真



7月27日(土)に今年度第1回の広報情報化交流会を開催致しました。文章の講師をKOHO(株)の林田孝一氏に、写真の講師を(株)スタジオ パッションの瀬戸正直氏(福友支部)にそれぞれ務めていただきました。

講義において、ブログやSNSなどインターネットで情報発信するにあたり、どのようにすれば、文章を読んでもらえるか、または印象的な写真になるかを学び、その後フィールドワークに出掛け、実際にInstagramに投稿して講師より講評をいただきました。

参加者からは、「文章の書き方が大変参考になりました。いままでの自分の投稿は文章が長すぎたり、短すぎたりで発信する側の目線だったと気づきました。」や「へえーと思える内容がたくさんで、なるほどの連発でした。写真は実際に撮影して頂いて違いを実感しました。」といった感想があり、とても評判でした。

次回は10月26日(土)(13:30~17:30)に久留米市民交流センターで開催します。ぜひご参加ください。



文章の講師を務めた林田孝一氏



写真の講師を務めた瀬戸正直氏

2019年 **10月26日(土)**

13:30~17:30

久留米市民交流センター 308会議室

久留米市城南町15番地3 久留米市役所3F

参加費 **1,000円**

定員 **40名** 定員になり次第申込受付を終了させていただきます。ご了承ください。

準備物 当日はタブレットまたはスマートフォンをご持参ください。

前回参加者の作品



うう!
暑~いですね。
今日は土用の丑の日とか。
この夏乗り切れるかな。



博多駅屋上はただいま32℃
駄菓子屋の中のスーパーボールでは
「どれにしようかな?」と迷う男の子
水音が涼風を誘います



柱に博多織
壁に博多塚のモチーフ
歴史と伝統をデザインで
未来につなぐ

お問い合わせ・お申し込み

同友会事務局(担当:旭)まで

TEL:092-686-1234/FAX:092-686-1230

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会
「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索